

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.108
2016.9

くしろ丹頂



河川の氾濫で道路が決壊（白糠町庶路）

C O N T E N T S

- 台風被害報告 1
- 平成28年度 釧路ホルスタイン共進会 2
- 第4回 釧路鞍馬大会 3
- 日本獣医生命科学大学 酪農実習体験 4・5
- 牛舎設計基礎勉強会 / 全道JA野球大会出場 5
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 辞令発令
JAカレッジからのお知らせ 6
- 普及センターだより 7



第57回 全道JA野球大会（江別市）

台風被害拡大 営農に支障

～相次ぐ台風 被害は甚大～



白糠地区の草地冠水

台風等による被害報告

八月の相次ぐ台風により、白糠町では
庶路と道東道庶路インターチェンジを
結ぶ道道上庶路庶路停車場線が、庶路
川の氾濫で道路が約300mにわたり

決壊し、現在も通行止め
となっております。

この為、庶路地区の集
乳業務をはじめとする営
農や日常生活に係る車輛
は道東道白糠IC⇨庶路
IC⇨阿寒IC（無料区
間）使用を余儀なくされ
ておりますが、今後は迂
回路が整備される予定と
なっております。

当JA四地区における
牛舎施設等の損壊、草地・
デントコーン畑への土砂
流入や流出、冠水被害も
多発しております。

これ以上被害が拡大し
ないよう現地の状況に応
じた復旧処置が進められ
ておりますが、粗飼料不
足や牛の体調管理への影
響が避けられない状況に
あります。

台風7号等による施設・草地等被害状況（8月31日調べ）

罹災農場数（戸）	鶴 居	幌 呂	白 糠	音 別	合 計
	33	21	46	20	120



白糠地区のデントコーン畑の土壌流出



音別地区の損壊した育成舎



審査員：稲山 智明 氏

八月二十日（土）、釧路市大楽毛・釧路農協連共進会場で、釧路ホルスタイン共進会が開催されました。管内6JAから合計82頭、うち当JAから40頭のホルスタイン牛が集

乳用牛の体型・資質等を競う ～平成二十八年 度 釧路ホルスタイン共進会～

まり資質を競いました。審査員は、北海道ホルスタイン農業協同組合の稲山智明氏が務め、各部の審査が行なわれました。チャンピオン決定審査では、リザーブシニアチャンピオンに音別、(株)敬和ファームの出品牛KWFサンチエリアダーハムビュー（第16部成年クラス）が選ばれるなど、当JA出品牛は各部で優秀な成績を収めました。牛群審査優秀農家表彰式では、当JAから7農場が受賞されました。

尚、主な入賞牛及び出品者並びに受賞者は表のとおりです。

釧路ホルスタイン共進会 入賞牛一覧									
リザーブシニア チャンピオン				KWF サンチエリア ダーハム ビュー				(株)敬和ファーム (音白)	
部	順位	名 号	出 品 者 (地区)	部	順位	名 号	出 品 者 (地区)		
J部	2-1	KWF サンチエシティー チップビュー ET	本 間 巧 斗 (大学1年) (株)敬和ファーム (音白)	13部	2-1	ヘイチャンスターブライトゴールドDJオージー ET	(有)伊深ファーム (音白)		
				15部	2-1	エメラルドローリンファイバーエストフタゴ	松 田 浩 二 (音白)		
1部	1-1	エメラルドローリンスパークコース	松 田 浩 二 (音白)	16部	2-1	KWF サンチエリア ダーハム ビュー	(株)敬和ファーム (音白)		
	2-1	V S ツリー デルデストーン	對 木 賢 雅 (音白)	17部	2	KWF アンソニー タラ ブローカウ ET	(株)敬和ファーム (音白)		
2部	2-1	MS J ブロカウ アンセンビュー ET	松 下 雅 幸 (鶴居)	(牧場等牛群)	賞	KWF ストーム ヘズダ デイリス			
	2-2	S. P ウォーリー ロメオ リツキー	(農) 高 橋 農 場 (鶴居)			KWF サンチエリア ダーハム ビュー			
3部	1-1	KWF センビュー アットウッド	(株)敬和ファーム (音白)	平成28年度 牛群審査優秀農家表彰 受賞者					
	2-2	ヒシマファーム キャスター フィーチェン	(有)菱沼ファーム (鶴居)	賞	最優秀賞		井 上 元 嗣	対象牛(頭)	
4部	2-1	TMF アットライブラーハイエピソードET	安 藤 功 (鶴居)	賞	優秀賞		植 田 紘 史	4	
5部	1-1	バインハイブ マッドアスパクリンシファー	松 井 俊 治 (鶴居)	賞	優秀賞		菊 地 栄 司	1	
	2-1	OP シーダーローン プラゼル アンコ	植 田 紘 史 (鶴居)	賞	優秀賞		増 田 慶 一	1	
6部	2-2	A マチムラアールチエアットメ	安 藤 功 (鶴居)	賞	優秀賞		松 下 雅 幸	2	
	2-1	トミー サンチエス プレッシング	(農) 清 和 農 場 (鶴居)	賞	優秀賞		(農) 高 橋 農 場	1	
7部	2-1	OP エムビービー ラブリーカウ	植 田 紘 史 (鶴居)	賞	優秀賞		(有)菱沼ファーム	1	
8部	2-2	TKS ミノル マックス アンコール	清 水 武 志 (鶴居)						
9部	1-2	S.P. メルマン シド ガイム	(農) 高 橋 農 場 (鶴居)						
	2-1	KWF アンソニー タラ ブローカウ ET	(株)敬和ファーム (音白)						
13部	1-1	KWF ストーム ヘズダ デイリス	(株)敬和ファーム (音白)						

歴史ある馬文化の継承 地域馬産の活性化を目指して

第4回 釧路軽馬大会



重量馬の決勝レース（第2障害）

八月二十八日、釧路市大楽毛神記念公苑特設軽馬会場で、第4回釧路軽馬大会が開催されました。

釧路軽馬大会実行委員会主催、阿寒馬事振興会・釧路丹頂農協馬事振興会後援で、全道各地から軽馬45頭、ポニー54頭、うち当J Aから軽馬2頭、ポニー1頭が出場しました。ソリに積む積荷重量は30kg（ポニー）から900kg（軽馬）まで種目ごとに決められており、山（第1、第2障害）が二つあるコースを馬がソリをひきな

がら力や速さを競いました。

競技種目は、一才軽馬からポニー軽馬、重量馬など種目別に19レースが行なわれました。あいにくの雨模様でしたが馬主やご来場の皆様からは、力強く駆けるポニーや軽馬の雄姿に、温かい声援と拍手が送られ、大会は盛会裡に終了しました。



スタートダッシュを決めるポニー軽馬

競 技 結 果					
レース	競技種目	重量	順位	名 号	出 品 者（地区）
5	三流馬	500kg	1位	フジカチドキ	松井 紀行（幌呂）
6	二流馬	550kg	1位	ハイセイウン	田中 光儀（鶴居）
13	ポニー軽馬E	60kg	着外	モ リ ヒ メ	森 重太郎（音別）



力強く駆ける軽馬（第2障害手前）

貴重な酪農実習体験を終えて

※日本獣医生命科学大学の学生を8月～9月にかけて、
連携協定の一環として3農場に受け入れました。

受入先・斉藤和弘農場



日本獣医生命科学大学
動物科学科3年

尾形宗信君

私はこの三週間の間に大
学生活では得られない非常
に多くのことを身をもって
学びました。

まずは生き物を扱う仕事
の厳しさです。酪農家の商

売道具は牛であるため1日
たりとも休むことは許され
ず、常に牛の状態に気を配
っていないならなりません。

酪農家から見た天候不順
も私には大きな衝撃でした。
普段の消費者の私であれば、

天候不順と聞けば不作で野
菜の値が上がる程度の認識
しかありませんでした。

しかし、酪農家から見れ

ば、天候不順はデントコー
ンや牧草といった飼料に大
きな影響を与えるだけでは
なく、牛達の体調面にまで

大きな影響を及ぼし、金銭
面への影響も免れません。

これは言われてみれば当然
のことですが、生産者から
の視点を持たない私には気
づけなかったことでした。

実習では、現場に立つこ

とで他にも多くのことを学
び、気づくことが出来まし
た。私はこの楽しくも、苦
しくもあった経験をこの先、
社会に出た際に活かしてい
きたいと思います。

受入先・(有)協栄農場



日本獣医生命科学大学
動物科学科3年

福原巧馬君

私はこの夏、(有)協栄農場
さんで23日間実習をさせて
頂きました。

酪農実習を希望した理由

は、酪農を体験し、より酪

農について知れたかったか
らです。初めは慣れない力
仕事や初めて見る機械の使
い方等わからない事ばかり
でした。慣れてくると、少

しずつ周りを見れるように
なり、わからない事は質問
する事を心掛けました。そ

んな質問にもわかりやすく
教えて下さったおかげで、

日に日に新しい知識が増え
ていき、充実感を味わいな
がら実習が出来ました。従
業員の方々を含め、多くの
皆様に迷惑をかけてしま
いましたが、この実習でしか
出来ない様々な事を体験し、
この実習を糧に今後も成長
していきたいです。

最後に、実習期間に住み
込みをさせて頂いた藤澤夫
妻と、担当して頂いた才田
さんをはじめとする皆様に
感謝の気持ちで一杯です。
本当にありがとうございます。

受入先・(株)敬和ファーム



日本獣医生命科学大学
動物科学科3年

田 邊 雄 大 君

私は、音別町の(株)敬和ファーム 成田純哉さん宅へ八月十八日から酪農実習に入らせて頂きました。

実習前、初の北海道という地に不安もありました。作業が始まり、初めて掴んだのが、ワラなどを移動させる為に使うフォークで初めて牛の糞出しをしました。大学では畜産のことも学んでおりましたが、現場の作業は初めての事ばかり

で毎日四苦八苦しながらお手伝いさせて頂きました。

今年は台風や雨の日が多かったため、牛への負担が大きく、乳房炎や乳量減少に繋がっていると教えて頂きました。

人や動物は自然の中で生かされているのだと強く感じ、自然と対峙する酪農家の苦労や努力を間近で感じました。

牛乳の生産は酪農家の並々ならぬ苦労の賜物で、この実習で体験した事は都心では味わえず、途中、体調を崩したため満足できる実習ではありませんでしたが、「大変」という字のごとく自分が大きく変わったそんな貴重な期間でした。

牛舎設計 基礎勉強会 開催 「設計の基礎・留意点を学ぶ」

八月九日、当JAで牛舎設計基礎勉強会が開催され、村内の酪農関係者25名が参加しました。

根釧農業試験場 堂腰 顕 研究主幹が「フリーストール牛舎（搾乳ロボット牛舎含む）設計の基礎や設計を考える際に留意すべき点について」講演し、参加者からは具体的な質問が多く出され、意義ある勉強会となりました。



講師：堂腰 顕 氏



(鶴居本所にて)

全道JA野球大会 出場 「初戦突破!! 健闘する」

八月二十四・二十五日の両日、江別市で全道JA野球大会が開催され、七年ぶりの出場となりました。

当JA野球部は、一回戦JA共済連北海道と対戦し、チームワークを発揮した全員野球により見事8対2で初戦を突破しました。

続く二回戦はJAきたそらちと対戦し、チーム一丸となり試合に挑み、どちらも譲らぬ一進一退の攻防の末、惜しくも1対3で苦杯を喫しました。皆様のご声援ありがとうございました。

全道大会での経験を糧に、今後の業務に生かして参ります。



奮闘した高野主将

理 事 会 報 告

8月定例理事会 平成28年8月29日(月)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 7月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 内部審査の結果について
6. 理事に対する資金の貸付報告について

付議事項

- 議案第1号 組合員の加入申込について
 議案第2号 融資の承認について
 議案第3号 諸規程等の制定について
 議案第4号 諸規程等の一部変更について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 当面の業務日程について

■平成28年度 生乳生産実績(8月)

	月計乳量(kg)	8月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,313,299.3	97.3	43,508,474.1	102.0
(鶴居地区)	2,885,175.8	98.2	14,818,471.0	101.1
(幌呂地区)	2,225,186.5	99.9	11,550,717.6	104.1
(白糠地区)	1,716,877.5	96.4	9,069,294.0	100.7
(音別地区)	1,486,059.5	93.3	8,069,991.5	102.0
管内計	45,271,327.7	99.9	232,117,953.8	103.4
(前年度管内計)	45,301,390.3		224,517,956.7	

辞 令 発 令

(平成28年9月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
眞 鍋 隆 宏	白糠支所 営農課営農係	白糠支所 金融共済課金融共済係

JAやJA関連団体へ100%就職

(平成27年度実績)

大学・短大・専門学校・高校生大歓迎 第2回学生募集 JAカレッジ

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(平成28年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:12月6日・7日 ●願書受付:9月8日~11月10日消印有効 ●学校見学もできます

男女共学

JA、JA関連団体へ就職

JAグループ職員養成校

お問い合わせ
資料請求

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校
 〒069-0834 江別市文京台東町43-1
 ☎0120-918-417 JAカレッジ 検索

編集後記
EDITOR'S NOTE

□デントコーンなど、これから粗飼料の収穫も大詰めを迎える時期となります。今年の夏の日照不足、長雨、たて続けに到来した台風の影響等、様々な要因が重なり収量や栄養成分の評価が心配ですが、評価値が平年以下であってもそれを補うための技術は様々あると思われますので、今あるものこれから利用するものを有効に活用しつつ、良質粗飼料給与に向け最善を尽くしてまいりましょう。

夏の疲れが引き金に!? サルモネラ症の予防対策

今年の夏は、高温多湿な氣候が続き、牛にとっても人にとっても厳しい環境でした。

サルモネラ症は年間を通して発症がみられますが、夏の疲れが出る秋は免疫力が低下するため、特に注意が必要です。

サルモネラ症について

症状 発熱、食欲不振、水溶性の下痢等

感染経路 エサ等と一緒に口から入る経口感染。感染牛からは糞便とともに多量の菌が排出され、環境を汚染する。

感染源 保菌動物（野生動物や鳥）、車両や人（靴や衣服）、導入牛

サルモネラ症予防対策のポイント
「菌の侵入防止」と「菌の拡散防止」です。

サルモネラ菌の侵入を防止！

農場内に感染源をもちこまないための対策をします。

①農場入口に消石灰を撒布

タイヤ一周に、しっかりと付着するよう3m以上の長さで消石灰を撒布します。

灰を撒布します。

②牛舎入口に消毒槽をおく

消毒槽に使う消毒薬には、ビルコンSや消石灰など有機物が混入しても効果が低下しにくいものがお薦めです。



来客用長靴を準備している事例もあります。

③牛舎入口に防鳥ネット等設置

防鳥ネット等を使い、牛舎内にカラスやネズミなどが侵入しにくい環境を作りましょう。



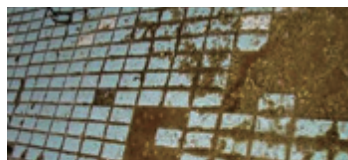
チェーンネットでカラス侵入防止

サルモネラ菌を広げない!!

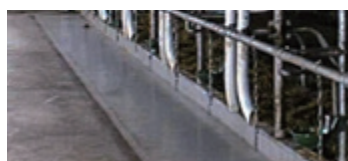
農場内で菌を拡散させないための対策を行います。

①飼槽・水槽の衛生管理

経口感染を防ぐため飼槽や水槽を清潔に保ちましょう。飼槽に凹凸があると残餌が残り、菌が繁殖しやすくなります。飼槽コーティングは費用はかかりますが、価値のある投資です。



凹凸がある飼槽



コーティングした飼槽

②子牛飼養環境の消毒

抵抗力がなく、重症化しやすい子牛の発症防止のため、飼養場所の消毒が有効です。消毒の頻度を高め、細菌数を感染しないレベルまで減らしましょう。

石灰塗布は動力噴霧を使った大がかりな作業を想像しますが、最近では万能ガンを使った手軽な作業方法が注目されています。



万能ガンを使った石灰塗布。こまめな消毒が菌数レベルを下げる。

万能ガン(※)を使った石灰塗布

- ①壁等についた糞や汚れをこそげ取る（水洗は不要）。
 - ②石灰資材と水を攪拌機で攪拌
 - ③万能ガンをコンプレッサーにつなぎ、石灰塗布する。
- ※別名リシンガン・リスタガン

また、ゼオライト入り石灰資材は飛散しにくい、乾燥が早い、脱臭効果も期待できるといった特徴があり、使用する農場も増えています。

良質粗飼料や水の給与、換気などに配慮し、乳牛の抵抗力を落とさない飼養管理も大切です。また、抵抗力の弱い産褥牛や子牛の状態には特段の注意を払い、早期発見、早期治療を徹底しましょう。

（平成二十八年九月執筆）